

## 【消化器内科】

### 大腸憩室について

国吉病院

医師 岡本 博司 さん

憩室とは、腸の内側から圧力がかかり腸壁が外に飛び出して袋状になったもので、大半は大腸にできます。食物繊維の摂取不足、便秘などにより腸の内圧が高くなること、高齢化に伴い腸壁が弱くなることなどが原因です。大腸憩室は10人に1人程度に見られるありふれた病気です。症状がなければ

治療の必要はありませんが、憩室炎を起こし腹痛、発熱などの症状が出ると入院して抗生剤投与を行います。憩室が破れて開腹手術を必要とすることもあります。憩室の壁の血管が破れて出血を来すこともあり、内視鏡的止血術を行います。止血困難例では開腹手術が必要になります。憩室がた



くさんできると腸の拡がりひろが悪くなつて便がスムーズに通らなくなり、さらに便秘を悪化させ悪循環に陥ってしまいます。これを防ぐには食物繊維をしっかりと摂取したり、緩下剤を服用して便秘を治すことが大切です。

#### 医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他